

かみのせき

上関中間貯蔵施設と

核燃料サイクルの破綻

山口県上関町祝島から、正面に原発計画予定地、その山向こうが中間貯蔵施設建設予定推測地

中国電力が上関町長島を「使用済み核燃料中間貯蔵施設（以後中間貯蔵施設）」の建設適地と判断しました。中間貯蔵施設を建設するということは、山を削り、大きな船が接岸するための港湾建設、航路確保のための浚渫などを行うことになるでしょう。予定地が面する海は「生物多様性の保全」を目的として選定した海洋保護区です。

この計画は貴重な生物が生息する瀬戸内海を、原子力産業のために破壊する計画です。なぜ？今？中間貯蔵施設なのか？ 長年、瀬戸内海の環境汚染問題に取り組んでこられた環瀬戸内海会議共同代表、NPO 法人ピースデポ理事（海洋物理学、海洋環境学、理学博士）の湯浅一郎さんに、詳しく話していただきます。

日時：12月6日（土）14時～16時

講師：湯浅一郎さん（環瀬戸内海会議共同代表・ピースデポ理事）

会場：渋谷商工会館5階第1会議室

渋谷区渋谷 1-12-5

資料代：800円

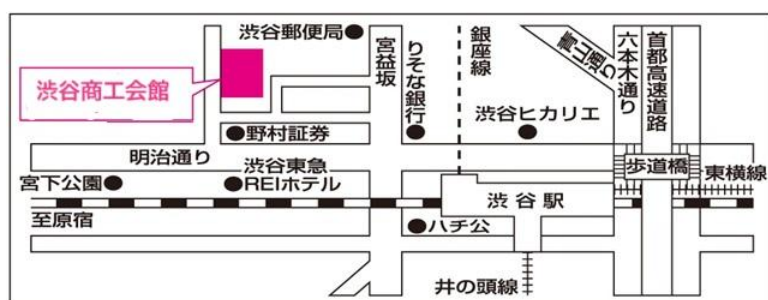
共催：ふえみん婦人民主クラブ、

上関原発どうするの？～瀬戸内の自然を守るために～

（略称：上関どうするネット）

連絡先：ふえみん婦人民主クラブ：03-3402-3244

上関どうするネット：kaminoseki.dousuru@gmail.com



アクセス

東京メトロ・東急・京王・JR 各線
渋谷駅より徒歩5分